



energizeEASTSIDE

概況報告

プロジェクト

Energize Eastsideプロジェクトでは、イーストサイドにおける家庭と企業を賄うため変電所と大容量送電線を新規建設します。この取り組みにより、既存の送電システムを改善し、イーストサイド地域全体に今後何年にもわたってより安定した電力を供給します。

近隣でよく目にする、ご家庭に電力を供給する配電線ではなく、市内全体へ電力を供給できる配電線よりも容量の大きい送電線です。

地域は発展を遂げており、既存の送電システムではその成長への対応が困難になってきました

私たちは現在、レントンからレドモンドまで、至る所でクレーンが動いたり、交通渋滞が深刻化しているのを目にします。イーストサイドはワシントン州のどの地域よりも、急速な発展を遂げています。数々の世界的な企業がイーストサイドで事業を展開し、それにより雇用は拡大しています。しかしながら、この幸運によって地域の既存の電力システムにより重く負担がのしかかっていることも事実です。地域発展に関する

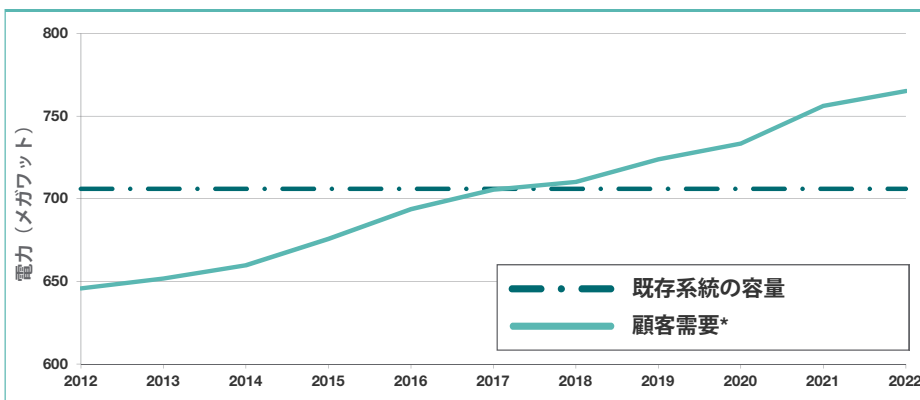
energizeEASTSIDE

- レドモンドからレントンまで約18マイル（29km）の送電線を建設
- イーストサイドの電力システムが地域の大規模な発展の一助となるよう取り組みを継続
- 現在配線経路を特定中、建設は2017年に開始
- ご意見をお聞かせください：
pse.com/energizeeastside

研究によって、安定した電力への需要は早くも2017年に既存の容量を超えると予測されています。これによって停電が発生するわけではありませんが、電力インフラに対する相当な改善と積極的な節電への取り組みを実施しない限り、イーストサイドの電力システムの冗長性は失われ、最大6万人のお客様に影響が及ぶ停電の確率が高まります。

イーストサイド 顧客需要の予測

この図は、100%の節電目標が満たされた場合の顧客の需要と現在の送電システムの容量を示しています。2017～2018年頃には、電力の安定供給能力を超えた需要となっています。



*顧客需要は100%の節電目標が満たされた場合を想定しています。

節電に取り組むだけではこの課題に十分に対処することはできません

過去30年間にわたり、PSEは既存の電力システムを最大限に活用するために重要な対策を講じてきました。1979年以降、PSEはエネルギー効率および再生可能エネルギープログラムのために何百万ドルも費やしてきました。2012年には、改良された照明、機器および装置、さらなる耐風雨性、そしてエネルギー効率の良い建築技術を通じて、30,000世帯の家庭への電力供給を滞りなく行うため、PSEのお客様が節電に協力してくださいました。それでも、節電を行うだけでは十分ではありません。努力も限界に近づいてきました。イーストサイドはこの地域を賄う電力システムを超える発展を遂げたのです。

ここイーストサイドの経済と人口は、私たちの節電努力では到底追いつくことができないほど急速に成長を遂げています。電力インフラを大幅に改善しない限り、何万もの住民と企業が、より頻繁に長期的な停電のリスクにさらされます。

PSEのEnergize Eastsideは、成長を遂げるイーストサイドにこれからも電力を供給し続けます

イーストサイドの増大するニーズに対応するため、PSEは独立した専門家と共に、既存の送電システムおよび様々な選択肢について独自の分析を多角的に実施してきました。これらのプロジェクト関連レポートについては、ウェブサイト (pse.com/energizeeastside) をご覧ください。

PSEは、地域内に発電施設を建設する案以外にも、地中送電線の採用、電池貯蔵やデマンドレスポンスなどの新技術採用も吟味しました。しかし、地中送電線の設置には膨大な費用がかかるうえ（要請者による資金提供がない限り）、現地の環境では実施が非常に困難です。さらに新しい技術もニーズを満たすに足りない、または適切な規模での検証結果が存在しないと結論付けました。

配線経路区間の案



総合的な検討の結果、増大するエネルギーのニーズに対応するために、引き続き節電に取り組みながら、新たな変電所と大容量送電線の設置によりインフラを改善するのが最善策であるという結論に達しました。変電所の新規設置により、現地の送電系統で送電容量の増加を実現し、エネルギー使用量の増大に対応します。そのために送電線の整備も図り、容量の増加を必要とするイーストサイド地域への送電を強化します。

地域と協力しながら 配線経路を決定

2013年12月に本プロジェクトを開始して以来、PSEはイーストサイドの住民、企業および

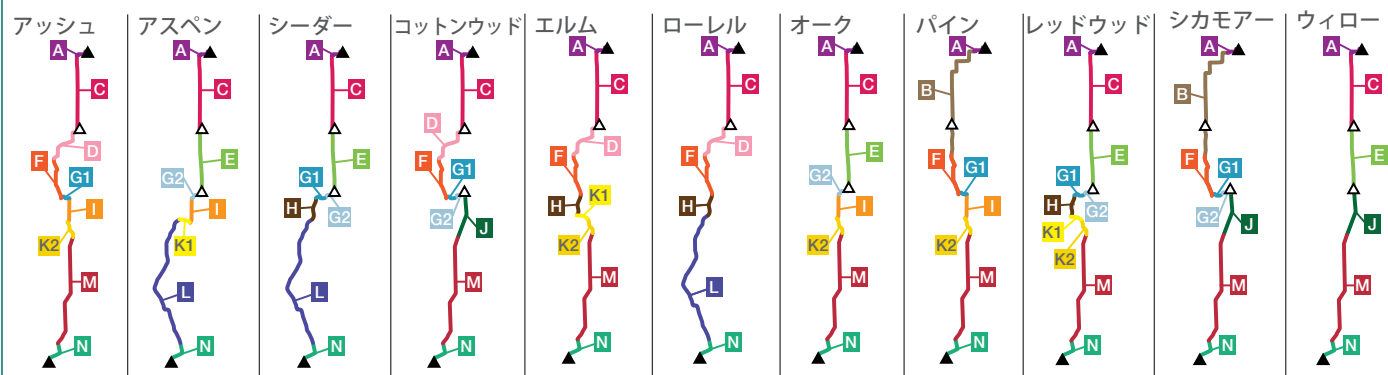
地域のリーダーと会い、プロジェクトについての詳細を共有し、新規230 kV送電線の配線のための配線経路および区間の案を検討しています。

PSEは、近隣の組織、都市、学校、経済開発団体、社会福祉事業、主な商業顧客、環境保護団体および不動産開発業者などのさまざまな関係者を代表する24人のメンバーで構成される地域諮問グループとも協力しています。

地域諮問グループはEnergize Eastsideプロジェクトのために、配線経路18案から11案を選定しました。各案には機会だけでなく制約も伴っています。

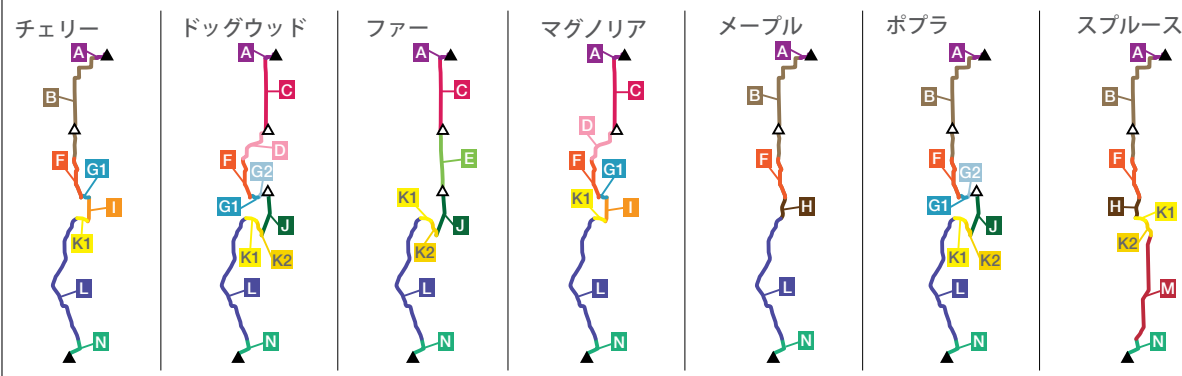
地域諮問グループのさらなる評価活動に役立てるため、 推奨配線経路を特定

地域諮問グループは以下の11件の配線経路案をさらなる評価の対象としました：



地域諮問グループのさらなる評価活動に役立てるため、 推奨外配線経路を特定

地域諮問グループは以下の7件の配線経路案をさらなる評価の対象外としました：



プロジェクトのスケジュール

2013年	2014年	2015～2016年	2017～2018年
	プロジェクトの発表	パブリックアウトリーチ	
	市民による配線経路の検討プロセス PSEによる配線要件および制約事項の評価	PSEによる配線経路の選定	
		最終設計および許可	許可の発令
			建設 サービス開始

即座の行動が必要です

イーストサイドにおける継続的な経済発展と雇用の拡大は安定した送電系統にかかっています。イーストサイドにおける力強い経済成長と雇用の拡大は、今後数十年間は続くものと見られています。ピュージェット湾地域評議会 (Puget Sound Regional Council) は最近、2010～2040年までにイーストサイドの雇用は70%以上拡大し、人口は3倍以上増加すると予測しました。

ご意見をお聞かせください

皆様のご意見はイーストサイドにとって最適な配線経路の選択肢と変電所の設置場所を特定する上で役に立ちます。経路検討プロセスへの参加方法および詳細については、私どものウェブサイトをぜひご確認ください。



写真：レントンにあるUnited Tileのハイディー・マーティン（左）とダミトリア・ニエベス（右）。United TileはPuget Sound Energyのグリーンパワープログラムに参加しています。

ご不明な点およびさらなる情報については、プロジェクトのウェブサイト

(pse.com/energizeeastside) をご覧になるか、担当者までお問い合わせください。

- リーン・コステック (Leann Kostek) シニアプロジェクトマネージャー
- ジャクソン・テイラー (Jackson Taylor) コミュニティプロジェクトマネージャー
- ケリー・プラビッツ (Keri Pravitz) コミュニティプロジェクトマネージャー

Energize Eastsideプロジェクトに関するご意見やご質問については、energizeeastside@pse.com または1-800-548-2614 (プロジェクトのボイスメール) までご連絡ください。